

共生毛根の増伸が進化!

共生有機質肥料

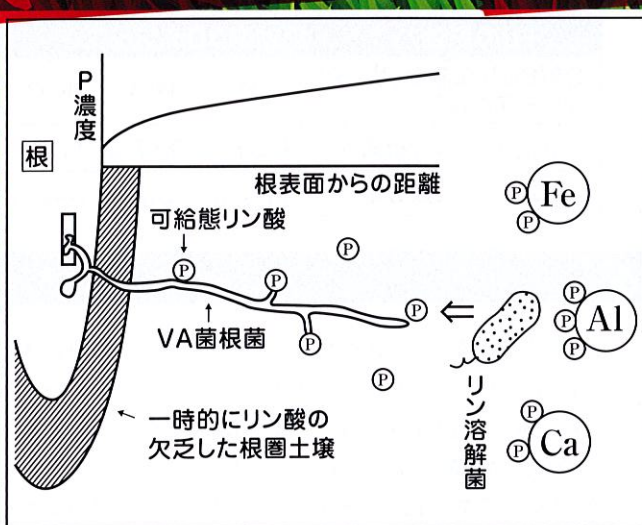
チッソ 4.5 - リンサン 3.5 - カリ 2.1
オールサッチメンテ NET 20kg

サッチ分解・善玉菌化の有用微生物 + VA菌根菌

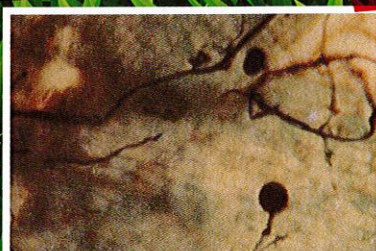
100%有機

オール善玉菌

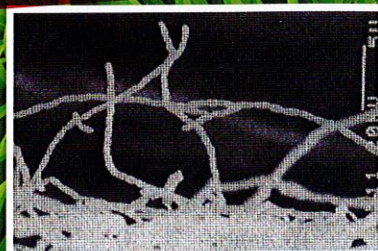
地力増進法
政令指定菌



VA菌とリン溶解菌の役割(西尾)



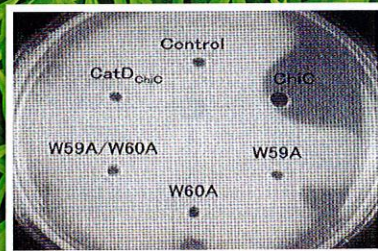
VA菌根菌 根の表面を走る菌糸と侵入



Streptomyces



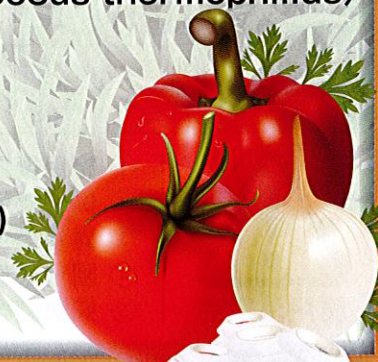
芝の分解写真



悪玉菌の厚膜表皮 キチン質、分解写真

含有微生物群

- バチルス属: バチルスナットウ (Bacillus Natto)
- ラクトバチルス属: ラクトバチルス・アシドフィラス (lactobacillus acidophilus)
- ストレプトコッカス属: ストレプトコッカス・サーモフィラス (Streptococcus thermophilus)
- 複合菌数 概ね $9.6 \times 10^{5-6}$
- 好熱菌: バクテリアホウジョウ (Bacterial Hojiyou)
- 菌数: 3.4×10^8
- 特性: $50^\circ\text{C} \sim 100^\circ\text{C}$ の高温で活性化する
- アーバスキュラー菌根菌 (Vesicular-Arbuscular Mycorrhiza)
- 光合成細菌 (phototrophic Bacteria)
- 複合菌数 概ね 6.7×10^7



サン化研株式会社

本社

〒589-0023 大阪府大阪狭山市大野台4-26-8
 TEL : 072-366-2012 / FAX : 072-367-3533

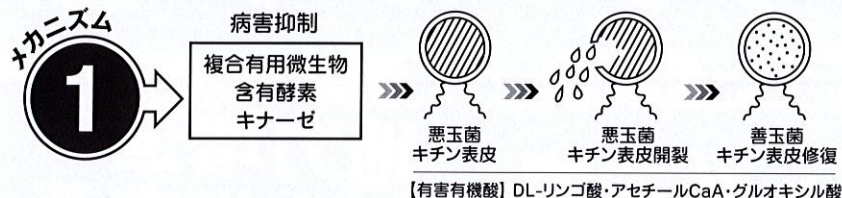
www.sunkaken.co.jp

オールサッチメンテ

チッソ リンサン カリ
4.5-3.5-2.1

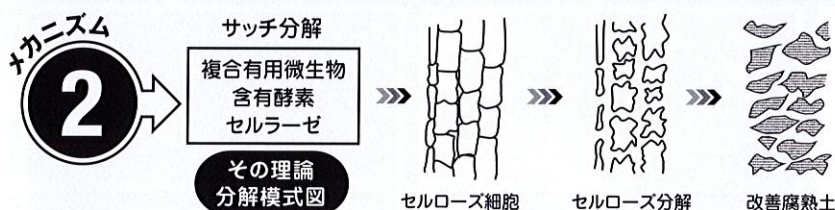
微生物効果理論の図解

1. オールサッチメンテによる 病害抑制(善玉菌化)のメカニズム



過去にNHK番組「未来派宣言」で放映紹介されました。好熱菌が悪玉菌にとりつく微生物放出の酵素キナーゼで表皮開裂し善玉菌となります。そしてこれが更に別の悪玉菌にとりつき善玉菌化していくという連鎖的改善により病害を抑制します。

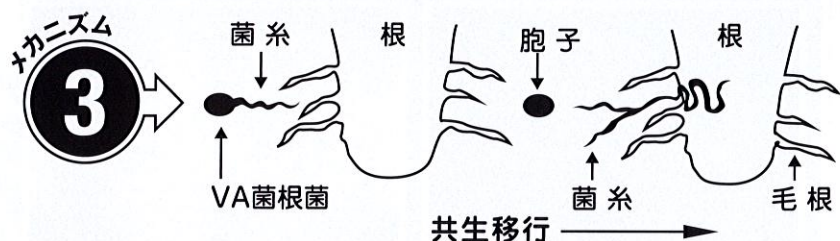
2. オールサッチメンテによる 未分解有機物(サッチ)のメカニズム



+αの肥効パワー・肥効率30%アップ

分解80%腐熟土(サッチ)から生成された	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
300g/m ² 中の分析成分	0.57%	0.17%	1.80%
300g/m ² 中の成分量	1.71g/m ²	0.51g/m ²	5.4g/m ²

3. オールサッチメンテによる 作物根との共生メカニズム



VA菌根菌の胞子から菌糸を出して根部に近づき根中の養分(有機化合物)を抽出しVA菌根菌の栄養分とします。やがて胞子と菌糸とが分離し菌糸が残存し毛根となります。そして土壌中の必要な要素(特にリン酸、ミネラル)や水分、そして炭素固定(土の光合成)、抗生物質による耐病性等々の吸入をはかり作物との共生関係を維持します。

共生について

- ◎ 共生の最適土湿度は15~25℃で略1ヶ月程度で根部と共生します。
- ◎ 共生率は、苗の早い時期の施用が御勧めです。
- ◎ 共生期間は栽培期間中維持します。

施用効果例

施用量	芝地グラウンド	40~60g/m ²	表層施用 春期(3~5月) 秋期(7~10月) 各1回	サッチ分解
	畑 地	160~200kg/10a	全層施用 各作物の元肥中心	健全生育
	水 稲	200~300kg/10a	秋施肥(表層施用)	刈株分解



施用注意点

- ① 施用後2~3日は農薬(殺菌剤、殺虫剤、除草剤)の散布は控えてください。
- ② 保管場所は冷暗所が適します。
- ③ 異種微生物との共存は可能です。
- ④ 圃場条件(悪玉菌量、PH、腐植率、有機質量、水分量等)により効果の度合いが変わります。
- ⑤ 好熱菌含有液剤「プロロングNH」の併用を御勧めします。

高知県の施用効果事例(10a当り)

■ 連作障害、病害菌対策の場合…………… 8袋(160kg)~10袋(200kg)

特にショウガの「根茎腐敗病」(立枯病)並びにナス(ピーマン、シシトウ)の「青枯病」キュウリ、メロンの「つる割病」はフザリウム菌が病害の原因であり、オールサッチメンテは特に好熱菌の働きで悪玉菌を善玉菌に好変させて、病害予防に役立つ。

■ ハウス園芸の残渣(残根茎)の醗酵分解の場合…………… 3袋(60kg)~5袋(100kg)

■ 土壌消毒(農薬、蒸気)の後処理の場合…………… 5袋(100kg)~8袋(160kg)

■ 長期栽培作物の場合(定植2ヶ月経過後)…………… 2袋(40kg)~3袋(60kg)を1ヶ月おきに畝全体に施用。